

平成30年度施設管理に対する評価シート

◎基本情報

管理施設

①施設名	大阪市立浪速区民センター
②指定管理者名	大阪市コミュニティ協会
③評価対象期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日
④指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和3年3月31日
⑤所管課・担当	浪速区役所 市民協働課（電話：06-6647-9734）

管理運営業務等の概要

①業務概要	貸館運営業務・使用料徴収及び収納事務・施設総合管理業務
②利用状況の概要	年間開館日数：359日 休館日は年末年始（12月29日から1月3日） 年間利用人数：106,257人 内、ホール利用 46,755人 会議室利用 59,502人 年間利用件数：7,742件（ホール653件、会議室7,089件） 年間利用率：平成30年度 65.4% 平成29年度 69.2% 平成28年度 65.5% 平成27年度 61.8% 平成26年度 58.0% 利用率計算式：7,742件 ÷ {(359日 × 11室 × 3)} ※小数点第2位四捨五入 年間使用料収入：平成30年度 13,554,650円 平成29年度 10,740,490円 平成28年度 11,950,750円 平成27年度 10,707,290円 平成26年度 10,543,720円 ※平成29年度は、ホールのつり天井改修工事に伴い、「ホール」及び「第1～4会議室」、「和室」の利用停止期間あり（※7月1日から12月28日）
③施設の設置目的・目標（成果指標）	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与する。
④年度目標	年間利用率60%以上

◎管理運営の実施状況

1 施設の設置目的の達成及びサービスの向上

①施設の管理運営状況（管理運営方針・手法に沿った施設の維持管理の状況、平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理業務等の実施状況）	各種設備は良好に管理され、施設の老朽化による中・大規模な不具合についても予算の範囲内において、順を追って改修がされているため、施設全体としては良好に管理されている。 また、利用者の声を的確に把握し、利用者のニーズに応えた施設設備の管理に努めている。
---	--

	平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理などについても適切に処理されている。
②事業計画の実施状況（計画に沿った事業実施、サービスの質、利用促進のための取組みと効果、利用者満足度の把握・反映状況、自主事業等の実施状況）	事業計画書に基づき、計画どおり事業を実施している。 ホームページの作成運営などにより、サービスの向上が図られている。 利用者満足度の把握のために、意見箱の設置・利用者アンケートを年2回実施し、利用者ニーズの把握に努めており、満足度は高く評価されている。 自主事業についても、利用者ニーズに沿った講座を展開することで好評を得ている。 【自主事業の実施状況】 《定期開催》 ヨガ教室、太極拳教室、リズムエクササイズ教室、社交ダンス教室、書道教室、囲碁教室、みそづくり体験会 《単回開催》 アート盆栽教室、音楽仲間集まれコンサート、人形劇など 【利用者アンケート概要】 1 施設をどちらでお知りになりましたか ・ 友人知人から 30人 ・ インターネット 61人 ・ 広報紙やチラシ 8人 ・ 以前から知っていた 88人 2 施設を使うことを決めた理由 ・ 便利な場所にある 95人 ・ 利用料金が安い 65人 ・ 部屋や備え付けの物品が良い 2人 3 利用満足度 (1) 予約手続き ・ 大変満足 36人 ・ 満足 145人 ・ 不満 6人 ・ 大変不満 1人 (2) スタッフの対応 ・ 大変満足 60人 ・ 満足 132人

	・不満 0人 ・大変不満 0人 (3)施設の清掃状況 ・大変満足 60人 ・満足 130人 ・不満 3人 ・大変不満 0人 (4)備品や設備 ・大変満足 46人 ・満足 121人 ・不満 3人 ・大変不満 0人 ・使用していない 7人
③施設の有効利用（他施設との連携状況、地域との連携状況、市民・NPOとの協働状況等）	主催している事業において、地域団体や市民・NPO等と協働した事業が実施されており、地域や市民団体等との連携が十分図られている。

2 市費の縮減効果（収支状況）

①収入・支出状況	収入 契約額 28,337,284円（前年30,276,740円） 支出 支出額 27,039,565円（前年29,541,239円） （内訳） 人件費 14,465,202円 光熱水費 4,808,910円 事務費 1,025,988円 施設管理費 4,737,242円 諸経費 2,002,223円 縮減額 1,297,719円
②市費縮減に係る取組み状況	電気及びガスの契約内容を見直しや、節電・節水等による光熱水費の縮減、指定管理者による軽微な設備補修の実施、第三者委託業者選定にかかる競争入札等の導入による経費の縮減に努めている。

3 社会的責任・市の施策との整合等

環境への配慮、就職困難者の雇用への取組み、個人情報保護に関する取り組み等の実施状況	未使用室の消灯の実施、一部電灯のLED化の実施、空調機器等の点検・整備による環境負荷の低減を実施。 就職困難者の雇用への取組みとして、2.42%の障がい者雇用率を確保。 個人情報保護については、大阪市個人情報保護条例を遵守している。
---	---

4 その他（点検等における要改善項目の対応状況、その他特筆すべき事項等）

①評価項目概要	なし
②上記についての成果や望まれる対応等	なし

◎評価

1 所管所属による1次評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	利用者ニーズに合わせた施設運営や丁寧な対応、不十分な点には改善策を講じるなど、利用者の利便性向上を行っている。利用率は目標を上回っている。	B
②市費の縮減効果に対する評価	電気及びガスの契約内容を見直しや節電等による光熱水費の削減や、施設管理にかかる第三者委託について競争入札等を導入、適切な施設の管理運営により市費の縮減（1,297,719円）効果が得られている。	A
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	施設の管理運営における社会的責任・市の施策との整合性については概ね期待通りである。	B
④総合評価	本市の厳しい財政状況を反映した限られた業務委託料の中で、優れた施設管理能力を発揮し、適切に施設の管理運営を行ったうえ、更なる市費の縮減を行い（1,297,719円の経費節減）、平成28年度と比較して使用料収入が増加した（1,603,900円）ことは非常に評価できる。	A

2 外部専門家等の意見

市費削減に対する取組みは非常に評価できる。しかし、利用率は依然、他区と比べても高いものではない。立地など様々な違いはあるものの、引き続き利用率向上のための努力が必要である。 今後も施設の設置目的を達成するため、より一層、区民等との協働に努めていただきたい。

3 所管所属最終評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	今後も施設の設置目的に沿った管理運営のもと、利用者ニーズに沿った運営を行い、更なる利用率の向上に努めていただきたい。	B
②市費の縮減効果に対する評価	市費の縮減努力は認められ、十分評価できる。	A
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	概ね期待通りである。	B
④総合評価	市費の縮減努力は認められ、使用料収入が増加したことは非常に評価できる。 今後も施設の設置目的を達成するため、より一層、区民等との協働に努めていただきたい。	A

評価の基準

- S…事業計画又は本市の定める水準の想定を大幅に上回る効果が得られた
- A…事業計画又は本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた
- B…おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られた
- C…事業計画又は本市の定める水準で想定した効果が得られていない

※ 施設の管理運営に関して過失による事故や協定違反等による改善指示、指名停止措置（平成25年4月から「参加停止措置」）などのペナルティを受けた場合は、当該項目と総合評価については原則としてCとすること